

令和4年6月

小林市議会定例会提出議案説明書

令和4年6月議会定例会の開会に当たり、まず、私の所信を申し述べさせていただきます。

私は、これまでに掲げた「医療・福祉・子育て支援の整備促進」、「持続可能で安心安全なまちづくりの推進」、「産業の育成・雇用対策の推進」及び「スポーツ・文化活動の振興」の4つの重点施策を引き続き進めていくとともに、本年3月に策定いたしました第2次小林市総合計画後期基本計画を確実に実行し、更なる市政発展に努めてまいり所存であります。

私は、市民の皆様がいつまでも笑顔で明るく元気に生きがいを持ち、輝いて暮らすためには、健康であることが重要であると考えていることから、本市の最重要施策とし

て「健幸のまちづくりの推進」を掲げ、将来的な社会保障費の抑制にもつなげるべく、「こばやし健幸ポイント事業」を実施するなど、これまで積極的に事業を展開してまいりました。

今後最も重要施策としてこの取り組みを推進していくとともに、本年3月に基本計画を策定した「健幸のまちづくり拠点施設整備事業」におきましては、体育館機能、健康づくり機能、子育て支援機能及び避難所機能を備えた、市民の皆様がいつでも気軽に利用することができる複合型総合体育施設の整備を引き続き進めてまいります。

また、本市の人口は年々減少しており、今後、地域活力の衰退など様々な影響が懸念されることから、その対策として、若者の

流出に歯止めをかける必要があると考えているところでもあります。

私がこれまでに取り組んできた、医療費助成の拡充などの子育て支援策に加え、基幹産業である農畜産業をはじめ、本市の強みを生かした施策を展開することで、若者の定住につなげ、人口の維持と地域活性化を図ってまいります。

さらに、2期目における喫緊の課題といたしまして、新型コロナウイルスの感染拡大により、本市の経済が依然として大変厳しい状況に置かれていることが挙げられます。

引き続き、感染拡大の防止はもとより、本市経済の回復に向けて対策を講じていくと

ともに、ポストコロナを見据えた取り組みを更に進めることで地域の活性化を促し、本市の新たな魅力の創出に向けた施策を展開してまいります。

以上が今後4年間で私が取り組んでいく主な施策でございますが、市民の皆様が元気に笑顔で暮らし続けられる小林市を目指し、私の政治姿勢であります「対話と決断」を基本として、市民目線の市政運営を行ってまいりますので、引き続き市議会をはじめ市民各位のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

次に、現在の市政運営に係る主な取り組み等について、ご報告をさせていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策に

ついてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましても、医療のひっ迫状況が一定程度沈静化してきたことに伴い、6月6日から県独自の警報レベルが「医療警報」に引き下げられたものの、本市におきましても、依然として市内在住の方の新たな感染の確認が続いており、未だ予断を許さない状況にあるものと考えているところであります。

引き続き、感染リスクはゼロにならないことを前提に、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持・再生」の両立を目指し、高い緊張感を持って、小林市の基本的対応方針に基づき、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいります。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、西諸医師会や各医療機関のご協力のもと、2回目接種完了者のうち重症化リスクの高い65歳以上の方の9割以上が3回目接種を完了しているところであります。

今後とも、新型コロナウイルスの更なる感染拡大の防止を図る観点から、県、西諸医師会その他関係機関との連携のもと、3回目接種の更なる加速化を図るとともに、4回目接種及び5歳から11歳までの方の小児接種につきましても、接種対象者の方が安心して円滑に接種していただけるよう、引き続き、万全の体制で取り組みを進めてまいります。

次に、商工観光の振興についてであります。

生駒高原、出の山公園、のじりこぴあ等市内の各観光施設につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら施設運営を行っているところですが、ゴールデンウィーク期間中におきましては、昨年度と比べて大変多くの観光客にご来場いただき、にぎわいを見せたところであります。

また、3年ぶりの開催となった「出の山ホテル恋まつり」につきましても、去る5月27日から6月4日までの週末の5日間において、多くの方々にお越しいただいたところであります。

一方、雇用対策といたしましては、去る5月6日に、ゲームなどのシステム開発やデータ入力代行業務を行うガルヒ就労支援

サービス株式会社が市内にサテライト
オフィスを開設することに伴い、同社と立地
協定を締結したところであります。

今後、I T技術を持つ方を中心とした雇用
機会の拡大や、地域経済の活性化に向けて
大きな弾みになるものと、期待をしている
ところであります。

次に、畜産業の振興についてであります。

10月6日から10日にかけて、第12回
全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されま
す。

去る6月3日に西諸地域の地域代表牛の
決定検査が行われたところですが、本市から
は、小林秀峰高等学校の出品牛2頭を含む

13頭が県代表候補牛に選ばれたところ
あります。

県代表牛決定検査は、8月2日と6日に
小林地域家畜市場で開催されますが、小林産
宮崎牛の更なる認知度及びブランド力向上
を図るため、県代表牛の座を確実に勝ち取る
とともに、全国和牛能力共進会において
本県が4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞
することができるよう、関係機関との連携を
密にし、出品される生産者に対して最大限の
支援を講じてまいります。

次に、地方創生の取り組みについて
であります。

市の情報発信につきましては、これまでの
取り組みを継続するとともに、本年4月から、

新たな本市の魅力発信プロジェクトとして「ハッシンコバヤシ！！」と銘打ったプロモーションを開始したところでもあります。

具体的には、現在、テレビや動画配信サービスを中心にプロモーションを展開しているところであり、本市の認知度向上や魅力の再発見、市民や本市出身の皆様の郷土愛の醸成に寄与するものと期待をしているところでもあります。

今後、この取り組みが、本市のファン獲得や関係人口の増加、観光や消費への行動につながることを目指して、行政だけではなく、市民や本市出身の皆様、関係団体等が一体となって本市の魅力を発信していくコンセプトのもと、市民総ぐるみでのプロモーションを展開してまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

報告第5号専決処分の承認を求めることにつきましては、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業に係る経費について、予算措置を直ちに講ずる必要があったため、令和4年度小林市一般会計補正予算第3号について、令和4年5月24日付けで専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めるものであります。

報告第6号専決処分した事件の報告につきましては、小林市市民体育館において市有車両と一般車両が接触した事故に関し、和解の成立及び損害賠償の額を定めることについて、令和4年5月13日付けで専決処分

いたしましたので、議会に報告するものであります。

議案第53号令和4年度小林市一般会計補正予算第4号につきましては、歳入歳出それぞれ980万円を増額し、予算規模は260億2,216万9,000円となります。

まず、歳入につきましては、国庫支出金を追加計上するものであります。

次に、歳出につきましては、繁殖用雌子牛の導入を緊急的に支援するための費用を計上するものであります。

議案第54号令和4年度小林市一般会計補正予算第5号につきましては、当初予算が

義務的経費や継続的な事業を中心とした骨格予算でありましたので、今回、肉付け予算として政策的経費を中心に計上するものであり、歳入歳出それぞれ16億6,358万円を増額し、予算規模は276億8,574万9,000円となります。

まず、歳入につきましては、地方交付税、国県支出金、市債等を追加計上するものであります。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、健幸のまちづくりの推進を図るための費用や、デマンド型交通の実証運行に向けた実証運行計画の策定に要する費用等を計上するものであります。

民生費につきましては、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築を図るための費用や、少子化対策に要する費用等を計上するものであります。

衛生費につきましては、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種が開始されたことに伴い、ワクチン接種に必要な費用の増額等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、燃油価格・農業資材等の高騰に直面する耕種作物の農業生産者に対し、臨時給付金を支給するための費用や、畜産業の生産基盤の確保と競争力強化を図るため、畜産クラスター協議会が実施する施設整備に対する補助金等を計上するものであります。

商工費につきましては、すきむらんど、野尻町総合交流ターミナルを改修するための費用や、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や事業者に対し、切れ目のない支援を行うための費用等を計上するものであります。

土木費につきましては、道路交通の円滑化及び安全確保を図るための市道改良工事に要する費用や、健幸のまちづくりの拠点となる複合型総合体育施設の基本設計を行うための費用等を計上するものであります。

消防費につきましては、老朽化した消防団詰所の更新を図るための費用等を計上するものであります。

教育費につきましては、今後の西小林地区全体の教育施設整備の在り方について、保護者や地域とともに検討するための費用や、学校給食の栄養バランスや量を維持するとともに、物価高騰に直面している児童生徒の保護者の負担の軽減を図るための費用等を計上するものであります。

議案第55号令和4年度小林市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号につきましては、歳入におきまして、国民健康保険税と繰越金の組替えを行うものであります。

なお、今年度の国民健康保険税の税率につきましては、据え置くことといたしまして、医療分と支援分を合算した1人当たりの調定額は9万2,436円、1世帯当たりの調定額は14万4,933円となります。

議案第56号令和4年度小林市水道事業会計補正予算第2号につきましては、資本的支出において、建設改良費7,730万円を増額するものであります。

議案第57号小林市国民健康保険税条例の一部改正につきましては、地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の引上げを行うため、所要の改正を行うものであります。

議案第58号小林市介護保険条例の一部改正につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における介護保険料の減免に関し、今年度についても当該減免措置を引き続き

実施するため、所要の改正を行うものであります。

議案第59号すきむらんどを設置及び管理に関する条例の一部改正につきましては、すきむらんど内の農林漁業体験実習館を解体することに伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第60号小林市病院事業薬剤師・看護師等奨学金貸与条例の一部改正につきましては、市立病院における薬剤師及び看護師等の人員の更なる充足を図るため、奨学金の返還の免除要件について、所要の改正を行うものであります。

議案第61号市道路線の認定につきましては、日の出団地線を認定することについて、

議会の議決を求めるものであります。

議案第62号市道路線の変更につきましては、内田前・沖線を変更することについて、議会の議決を求めるものであります。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算措置等が必要となった場合には、速やかに関係議案を提案させていただくこととしております。

以上、よろしくご審議のほどお願いをいたします。